

「復興農学会」事務局会議（第 50 回） 議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2022 年 9 月 28 日（水）18 時 00 分～18 時 55 分

方法 Zoom による Web 会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、大川 泰一郎（東京農工大学）、小倉 振一郎（東北大学）、新田 洋司（福島大学）、石井 秀樹（同）、横山 正（同）、佐伯 爽（同）
（敬称略）

議事録

1. 学会誌・編集委員会関係について（横山）

横山 特任教授より、第 3 巻第 1 号（2023 年 1 月発行予定）の投稿・審査状況について報告があった。生源寺 会長が投稿予定であること、緑肥に関する総説や東京大学関係者による論文投稿について確認・報告があった。また、10 月 1 日に開催される日本農学会シンポジウムで溝口 教授が講演する内容の一部（エッセンス）を掲載することとなった。

浜通り地域の自治体の動向に関する記事の掲載について検討され、未掲載であった富岡町については大川 教授が同町長に連絡するなどして掲載する方向で検討することとなった。また、自治体の動向等に関する情報を、首長・部課長に執筆してもらうか事務局会議メンバーがインタビューを実施してまとめ、学会誌に定期的に掲載してはどうかとの意見があり、編集委員会で検討することとなった。

横山 特任教授より、第 3 巻第 1 号の投稿は随時受け付けているが、12 月までは受け付け・審査が可能であること、原著論文ばかりではなく「現場からの報告」や短い論文でもよいので積極的に投稿して欲しい旨の依頼があった。

溝口 教授より、東大むら塾による「福島飯館学生サミット」（9 月 19～20 日。飯館村防災センター）について記事にしてはどうかとの提案があり、同教授が東大むら塾メンバーに依頼することとなった。

2. 会員の会費の納入状況について（新田）

新田より会員の 2022 年度会費の納入状況について、8 月末を締め切りとして全会員にメールで納入を依頼したが 9 月に入ってから納入者があること、9 月 27 日までで 62 名が納入したこと、新規の入会者 1 名が会費を納入したこと、が報告された。

3. その他

(1) 日本農学会 2022 年度シンポジウムについて（新田）

新田より、日本農学会主催のシンポジウムが下記のように開催され、本学会より溝口 教授が講演すること、積極的な参加が期待されることが報告された。

溝口 教授より、シンポジウムで話題提供すべき情報があれば、すみやかに提供いただきたいとの依頼があった。

（日本農学会 2022 年度シンポジウム）

日時 10 月 1 日（土）10 時 00 分から

場所 対面・オンライン配信のハイブリッド

テーマ カーボンニュートラルの達成に向けた農学研究

本学会より溝口 教授が講演

タイトル：地域バイオマスを活用した堆肥づくりと除染後農地土壌の肥沃度向上

・参加には事前登録が必要（日本農学会 Web より）。

(2) その他

①「サマースクール」等の実施について

黒瀧 教授より、コロナ下前に構想があった「サマースクール」等について実施を検討してはどうかとの提案があった。意見交換・審議の結果、以下のような意見を参考にして実施に向けて引き続き検討することとなった。▼宿泊して実施したいが、宿泊地はホテルなどではなく「古民家」のようなところがよい（溝口 教授）、▼葛尾村では廃校となった中学校の建物があり、東北大学で以前実施した「復興農学実習」では40人が寝袋で「雑魚寝」して実施した。風呂は葛尾村宿泊交流館「みどりの里せせらぎ荘」を利用した。「サマースクール」等に利用可能かも知れない（小倉 教授）。

②総会・研究会の実施および役員選出規程等の整備について

新田より、2023年2～3月に総会・研究会を対面で開催してはどうかとの提案があった。また、その際、未整備の役員選出規程等を審議し了承後、施行すること、会計について報告し審議・了承を得る必要があること等が確認された。さらに、総会・研究会を「福島国際研究教育機構」の立地が決まった浪江町で、本学会の活動と連携して開催するのがよいとの意見があった。審議の結果、事務局で原案を作成し、10月の本会議で再度検討することとなった。

横山 特任教授より、研究会の開催を現在の年1回から年2回にしてはどうか、それにより学会誌への論文等の投稿数が多くなり活性化につながるのではないかなどの意見があった。このことについては引き続き検討することとなった。

③本会議の今後の開催日時について

新田より後期になり本会議の開催日時を再確認・調整する必要があるため、Web（「伝助」など）で日程調整することが報告された。なお、次回は予定どおり10月26日（水）18時00分から開催すること、次々回以降（11月以降）は「毎月第4水曜日18時00分」から変更する必要があることが提案され了承された。

以上

今後の予定

- ・日本農学会 2022年度シンポジウム 2022年10月1日（土）10時00分から
- ・事務局会議（第51回） 2022年10月26日（水）18時00分から
- （・事務局会議（第52回） 2022年11月23日（祝・水）18時00分から？）
- ・事務局会議は当面、毎月第4水曜日 18時00分から1時間程度開催。